

CONDUIT

— MIDI hub —

USER MANUAL

strymon®

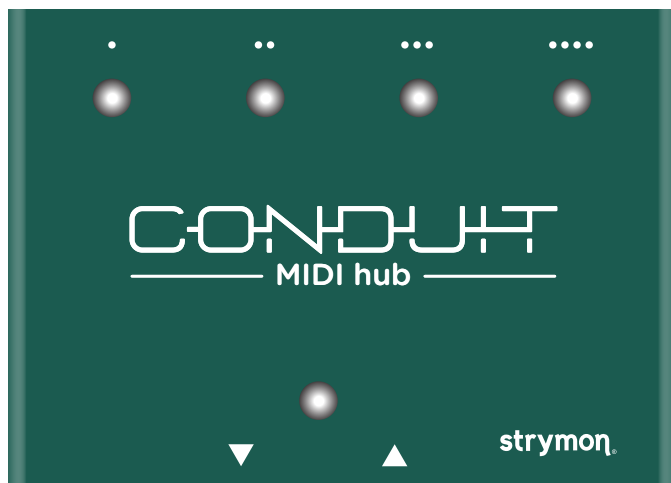
目次

.....

オペレーションモード	3
各部の説明	
フロントパネル	4
リアパネル	6
1/4” TRSジャック設定	7
他社製品との1/4” TRSジャック設定	8
接続について	
ペダルボードのMIDI分配コネクション	10
2つのペダルとの1/4” TRSジャック接続	13
コンピューターとの使用	15
ペダルボードへの取り付け方法	16
主な特長と仕様	17
Appendix 1: スタンドアロン	
ケーブル接続	20
データフロー	21
Appendix 2: USB MIDIインターフェース	
ケーブル接続	23
データフロー	24
品質保証に関して	25

オペレーションモード

CONDUIT（コンドゥイット）には、**スタンドアロン**と**USB MIDIインターフェース**のモードがあります。



スタンドアロン・モード

本機は**USB-C**ポートでコンピューターに接続されない限り、スタンドアロン・モードで動作します。このモードでは、DIN **MIDI IN**で受けたMIDIデータを1/4” TRSジャックとDIN **MIDI OUT**ポートへ出力します。通常この場合は、MIDIコントローラーをDIN **MIDI IN**に接続し、1/4” TRSジャックとDIN **MIDI OUT**からMIDIデータを分配します。

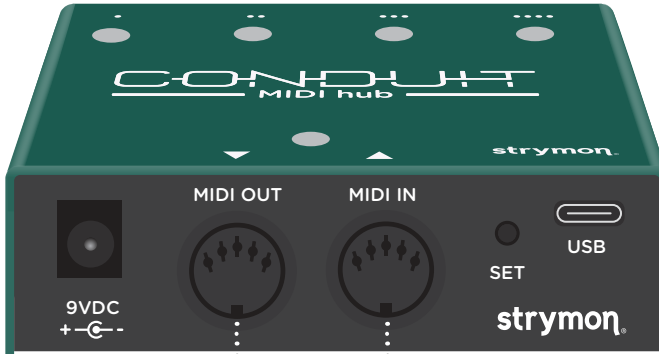
【詳細は[19ページ](#)以降の説明をご覧ください。】

USB MIDIインターフェース・モード

本機は**USB-C**ポートでコンピューターに接続されると、USB MIDIインターフェース・モードに入ります。各TRSジャックと両5ピンDINは、独立したMIDIデバイスとして動作します。

【詳細は[22ページ](#)以降の説明をご覧ください。】

各部の説明 – フロントパネル



DIN MIDI IN/OUT ポート

5ピン DIN **MIDI IN**は、接続された外部MIDIコントローラー、またはMIDIインターフェースからMIDIデータを受けます。9V DC電源での動作時には、データは4つの1/4” TRSジャックとDIN **MIDI OUT**から出力されます。本機がコンピューターへ接続されない限り、1/4” TRSに接続されているペダルからのMIDIデータは、統合されて**MIDI OUT**ポートへ送られます。

NOTE : USB接続されている時は、ペダルから各1/4”ジャックで受けたMIDIデータはコンピューターに送られ、**MIDI OUT**へは送られません。

【詳細は[15ページ](#)の説明をご覧ください。】

各部の説明 – フロントパネル

MIDI IN/OUTポート用ステータスLED

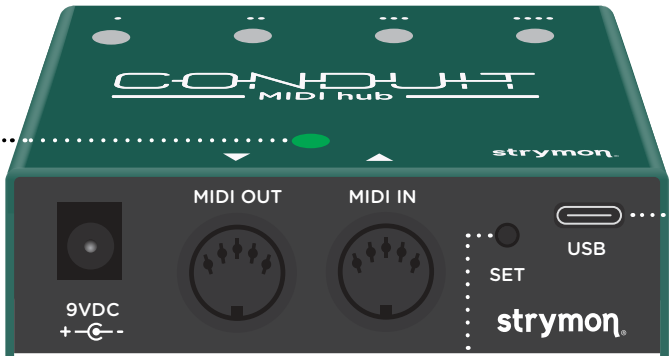
DIN I/O用ステータスLEDは電源オンで**グリーン**に点灯し、MIDIデータが1/4"ジャックを通過すると**アンバー**に点滅します。

【詳細は15ページをご覧ください。】

USB

コンピューターと接続するポートです。DIN **MIDI IN**ポートにMIDIデータを送り1/4" TRSへ出力する際には、**USB**接続は外してください。

【詳細は15ページをご覧ください。】



9VDC

アダプターを接続します。電源規格は9VDC（センターマイナス）、50mA以上です。

NOTE：本機をUSB接続で使用する際は、アダプター電源は必要ありません。

SET

TRS MIDI I/Oジャック設定の確認に使用します。

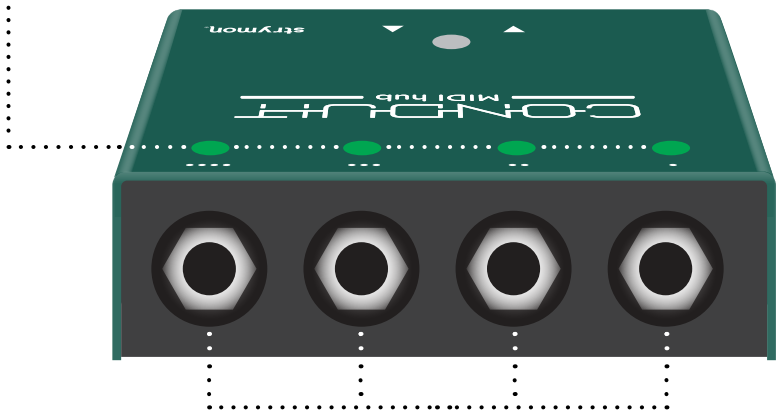
【詳細は7ページをご覧ください。】

NOTE：セットボタンはいつ押しても、1/4" TRSジャックの設定ステータスが表示されます。

各部の説明 – リアパネル

動作LED表示

1/4”ジャックにMIDIデータが送られると、選択されているモードのカラーでLEDは点滅します。



1/4” TRS MIDI I/O ジャック1-4

各1/4” TRSジャックはMIDIデータの送受信が可能です。また、異なるMIDIコミュニケーションモードにも対応できます。

【詳細は[7ページ](#)をご覧ください。】

1/4" TRSジャックの設定

本機は出荷時にstrymonペダルの1/4" TRS MIDIと動作するように設定されています。本機をstrymon以外のペダルで使用する際は、各1/4" TRSジャックの設定が必要です。

【詳細は[8ページ](#)をご覧ください。】

SETボタンを押して、1/4" TRSジャックのステータスをいつでも確認できます。

グリーン : Tip センド (双方向)

本機はMIDI データをTIPセンド & RINGレシーブします。これがデフォルト設定で、Strymonペダルの仕様です。

レッド : Ringセンド (双方向)

本機はMIDIデータをRINGセンド & TIPレシーブします。

アンバー : Tip & Ring センド (MIDI OUTのみ)

本機はMIDIデータをTIPセンド & RINGセンドします。

NOTE : この設定の場合は、TRS Yケーブルの使用で一つのTRSジャックから、2台のペダルにMIDIデータを送ることができます。

【詳細は[13ページ](#)をご覧ください。】

パープル : TRS タイプA (MIDI OUTのみ)

本機はRING (カレントソース) からMIDI OUTのみ送り、TIPはカレントシンクになります。

NOTE : Strymon以外のペダルを本機と使用する場合は、

strymon.net/support/conduitをご覧ください。

他社製品との1/4" TRSジャック設定

- 1 まず本機の電源を切り、SETボタンを押しながら再び電源を入れると、5つ全てのLEDが点滅を始め、セットアップモードに入ります。1/4" TRSのLEDは現設定のカラーで点滅します。

グリーン = Tip センド

レッド = Ring センド

アンバー = Tip & Ring センド

パープル = TRS タイプ A



SETボタンを長押ししながら電源を入れます。

他社製品との1/4” TRSジャック設定（続き）

- ② SETボタンを離します。接続設定を変更するには、変更するチャンネルに一度ケーブルを挿した後、そのケーブルを抜きます。すると、LEDカラーが変わり新しいモードを表示します。

グリーン = Tip センド

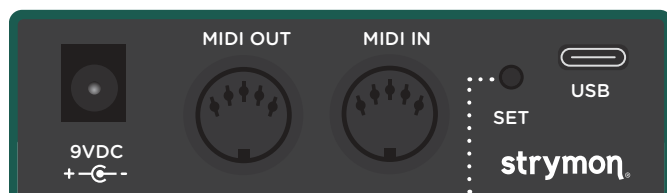
レッド = Ring センド

アンバー = Tip & Ring センド

パープル = TRS タイプ A



- ③ 変更したい接続のカラーが変わったら、**SET**ボタンを押します。これで、セットアップは完了です。



ペダルボードでのMIDI分配方法

本機の最も一般的な使用法は、MIDIコントローラーからのMIDIメッセージを1/4”ケーブル（同梱）と5ピンDIN MIDIケーブル（同梱されていません）を使ってペダルへする分配方法です。次のステップに従って、MIDIコントローラーをDIN **MIDI IN** へつなぎ、MIDIメッセージを分配してください。

- 1 本機に9V DC（センターマイナス、50mA以上）電源を接続します。本機に電源が入るとLEDが点灯します。また、ACTIVITY LEDは、各TRSジャックの設定カラーで点灯します。

【詳細は[7ページ](#)をご覧ください。】

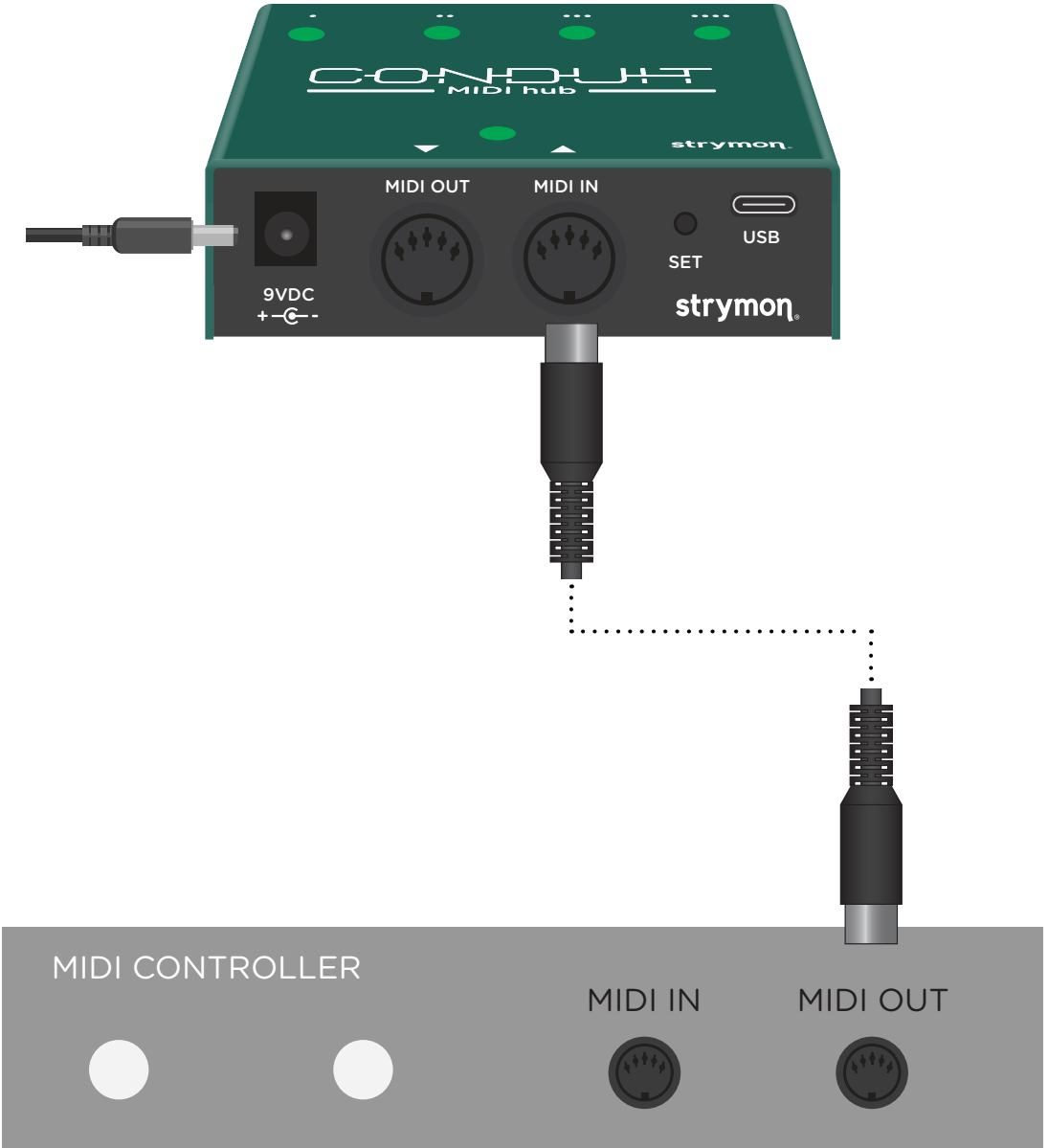


NOTE：他社製のTRSタイプMIDIペダルについては、別途設定が必要です。

【詳細は[8ページ](#)をご覧ください。】

ペダルボードでのMIDI分配方法（続き）

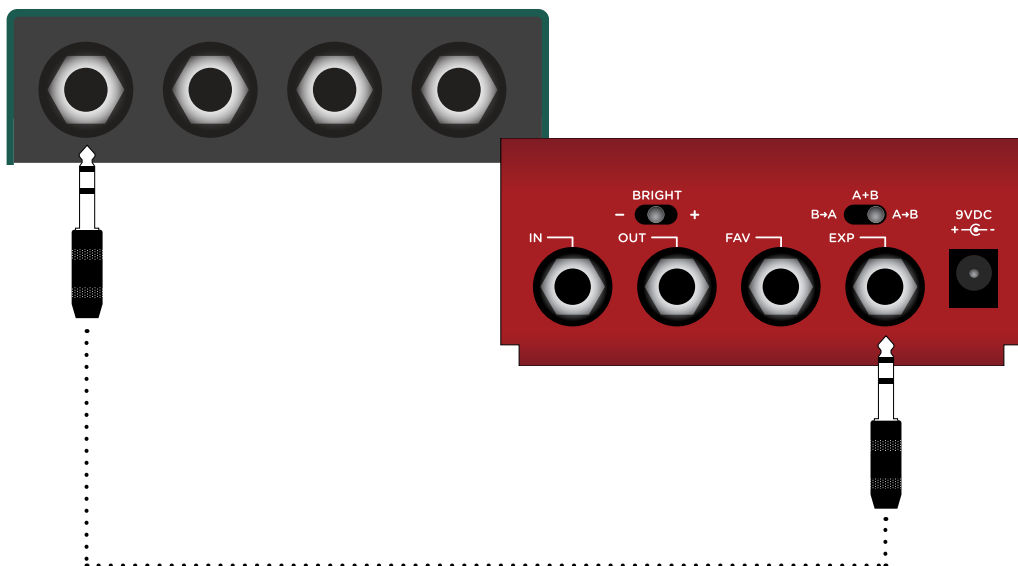
- ② MIDIコントローラーまたはMIDIインターフェースの**MIDI OUT**から、5ピンDIN MIDIケーブルで本機の**MIDI IN**に接続します。



ペダルボードでのMIDI分配方法（続き）

- ③ 1/4" I/Oジャックから1/4" TRSケーブルでペダルと本機を接続します。MIDI使用が可能なStrymonペダルの**EXP**または**MIDI**ジャックと接続します。

【詳細な手順については、ペダルのユーザーマニュアルを参照してください。】



- ④ MIDIチャンネルは、接続したペダル側で設定します。本機では、全てのMIDIチャンネルがすべての出力へ送り出されます。

【詳細な手順については、ペダルのユーザーマニュアルを参照してください。】

- ⑤ 接続したペダルがMIDI OUTを出力する機能があり、双方向のデータコミュニケーションを行わない場合は、ペダルのMIDI OUTをオフにします。

【詳細な手順については、ペダルのユーザーマニュアルを参照してください。】

NOTE : 本機がコンピューターとUSB接続されていない場合は、ペダルから1/4"ジャックで受けたMIDIデータは、統合されて5ピンDIN MIDIポートへ送られます。

シングル1/4” TRSジャックから2台のペダルへの接続

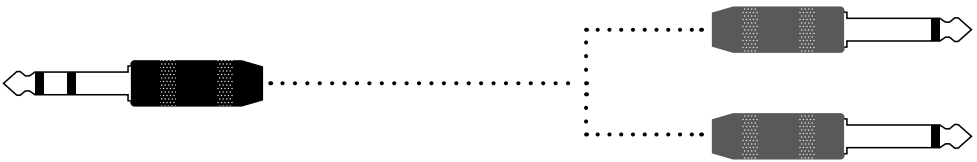
Tip & Ringセンド設定の場合は、TRSスプリッターケーブル（同梱されています）を用いてのTipセンドが可能です。これにより、本機のシングルジャックから2台のTipレシーブMIDIペダルを制御できます。

NOTE：すべての1/4” MIDI対応strymonペダルは、TRS接続のTipでMIDIデータを受けます。他社製のペダルをご使用の場合は、strymon.net/support/conduitでそのTRS仕様を確認してください。

- 1 1/4” TRSジャックをTip & Ringセンドに設定します。（LEDはアンバーに点灯します。）

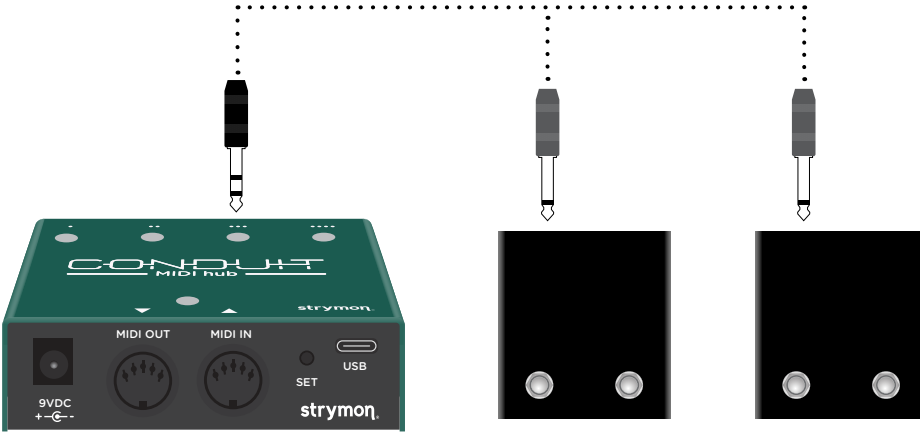
【詳細は7ページをご覧ください。】

- 2 図のようなTRSスプリッターケーブルを接続します。



シングル1/4” TRSジャックから2台のペダルへの接続（続き）

- 3 図のように、TRSスピリッターケーブルをペダルの1/4” MIDIジャックに接続します。



- 4 ペダルがMIDIメッセージを指定MIDIチャンネルで受けるように設定します。

【詳細な手順については、ペダルのユーザーマニュアルを参照してください。】

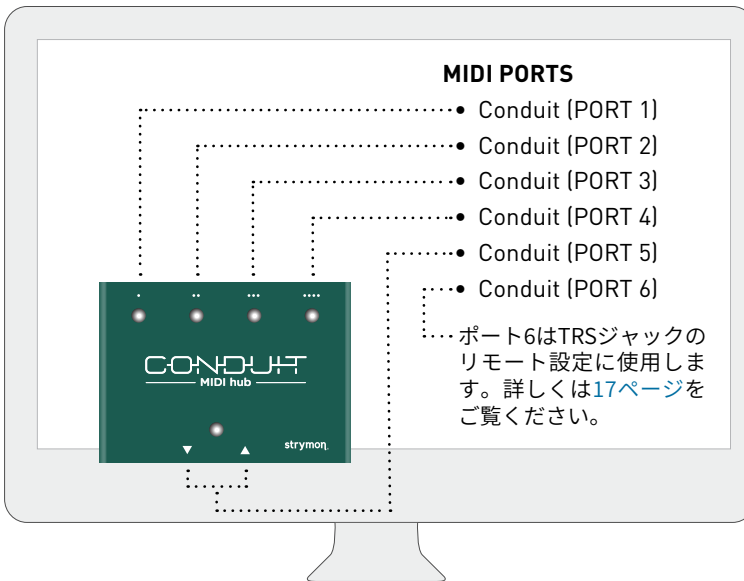
NOTE：このモードでは双方向MIDIコミュニケーションはできません。
ペダルはMIDIデータの受信のみ可能です。

本機をコンピューターと使用する場合

本機は、同梱のUSB-Cケーブルでコンピューターと接続して、MIDIインターフェースとして使用できます。

本機がコンピューターと接続されると、6つのMIDI I/Oポートが認識されます。

- MIDI Ports **1-4**は、1/4" TRS ジャック1-4です。
- MIDI Port **5**は、5-DIN **MIDI IN/MIDI OUT**です。
- MIDI Port **6**は、USBコミュニケーションポートです。

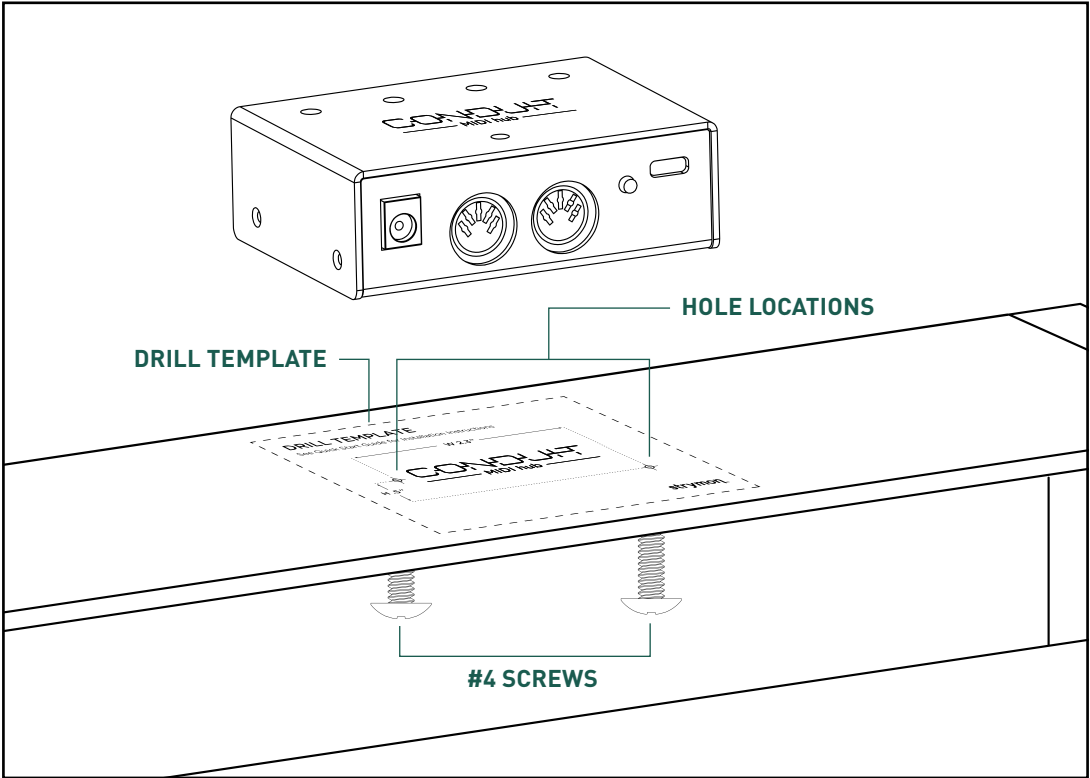


MIDIポートとCONDUITに繋がれた各デバイスが上図のようにコンピューター/DAWに表示されます。

NOTE : 1/4" MIDIに対応したstrymonペダルは、双方向のMIDIコミュニケーションが可能です。双方向のMIDIコミュニケーションが可能なStrymon以外のペダルについてはstrymon.net/support/conduitをご覧ください。

ペダルボードへのマウント

ペダルボードへ簡単に取り付けられるように、本体にはネジの受け金具が付いています。



① 取り付け場所を決める

上図のように、同梱されているドリル穴のためのガイドを、取り付けたい場所に貼り付けます。

② ドリルで穴をあける

3mmのドリルで穴を開けます。

③ 本機を取り付ける

本機を取り付けたい場所に置き、付属のねじ（#4-40、3/8インチねじ）で取り付けます。

MIDIの仕様

.....

MIDI CC番号によるTRSジャック設定

本機のポート6経由で、TRSジャックの設定がコンピューターから変更できます。

MIDI CC 1 = Jack 1

MIDI CC 2 = Jack 2

MIDI CC 3 = Jack 3

MIDI CC 4 = Jack 4

Value 0 = Tip Send

Value 1 = Ring Send

Value 2 = Tip & Ring Send

Value 3 = TRS Type A

主な特徴

- オプトカプラ絶縁 5-pin DIN MIDI (IN & OUTポート)
- 4系統 1/4”TRS 双方向 MIDI ポート
- 5 x LED MIDI ステータス表示
- USB - C → USB - A ケーブル (オス)
- 軽量メッキ処理アルミケース (マウンドネジ穴付き)
- Made in USA

製品仕様

電源仕様	9V DC センターマイナス
重量	141g
サイズ	7.2 cm D x 9 cm W x 3.8 cm H

同梱物

- Conduit MIDI hub本体
- TRSケーブル x 4本 (約45cm)
- USB Type-C → USB-A (オス) ケーブル x 1本
- ドリルテンプレートジグ
- マウンドスクリュー x 2本
- ゴム足 x 4個
- クイックスタートガイド
- Strymon ステッカー

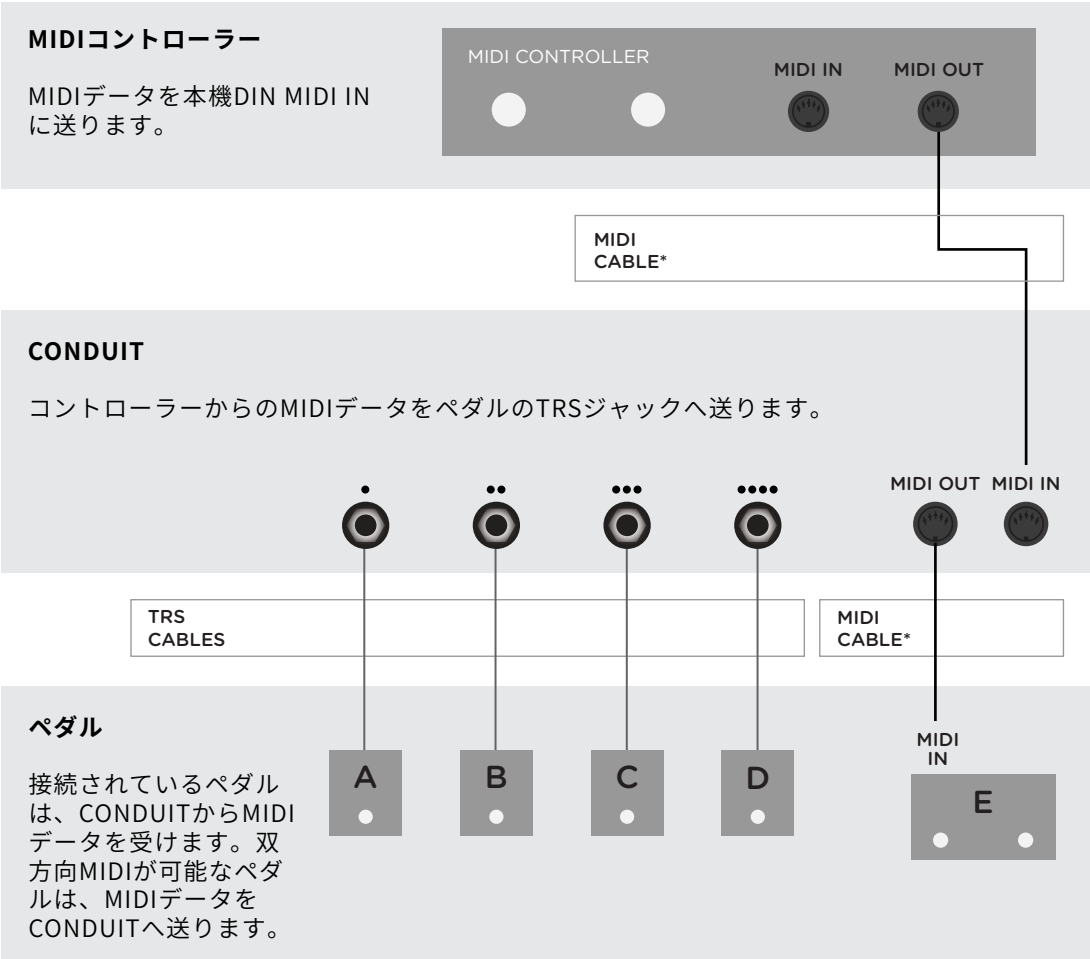
Appendix 1

スタンドアロン

Without USB Connection

Appendix 1: スタンドアロン – ケーブル接続

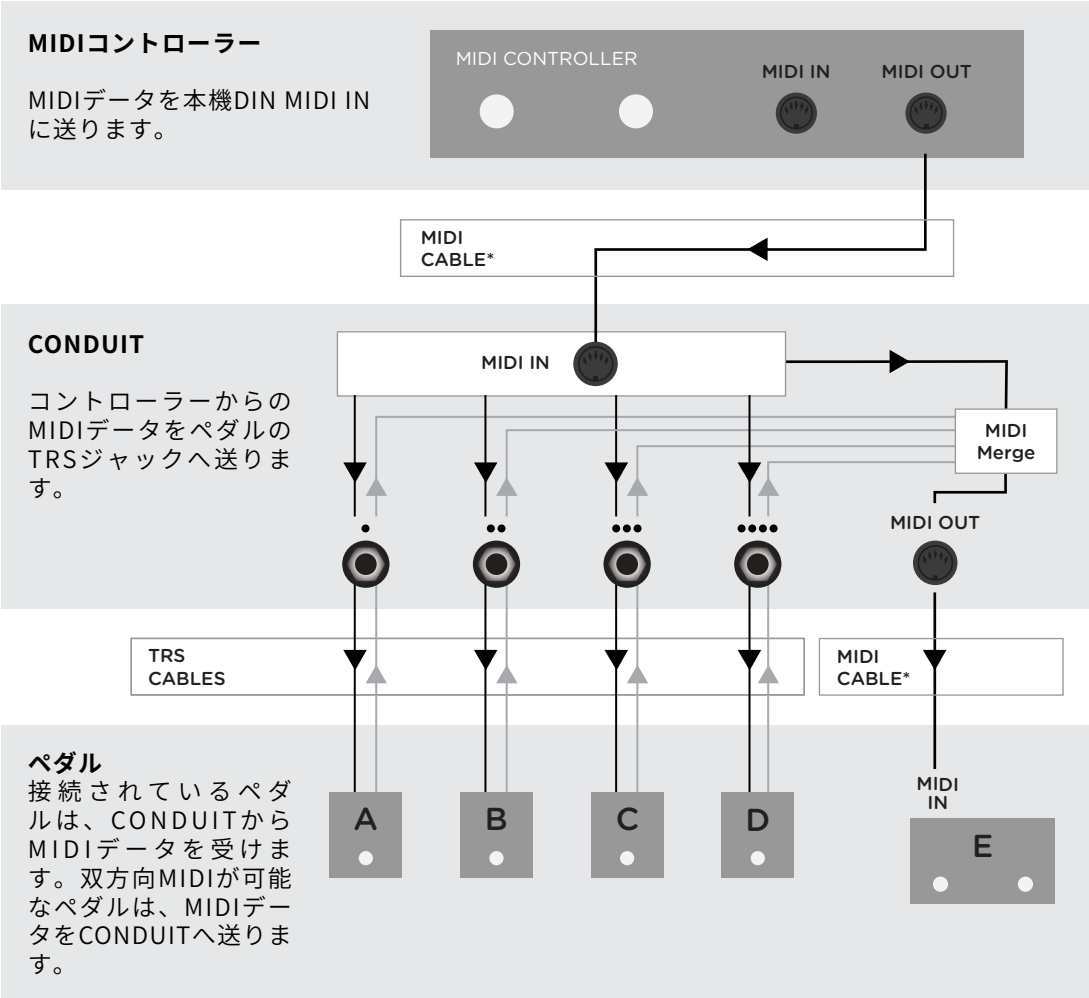
下の図はUSB接続を使用しないMIDI分配の接続法です。



NOTE：MIDIケーブルは同梱されていません。

Appendix 1: スタンドアロン – データフロー

下の図はUSB接続を使用しないMIDI分配のデータフローです。



NOTE: 各TRS MIDIジャックと両5ピンDINジャックは、すべてのMIDIチャンネルで同時にデータの送受信が可能です。MIDIデータを受信するだけの場合は、接続しているデバイスで使用するMIDIチャンネルを設定してください。

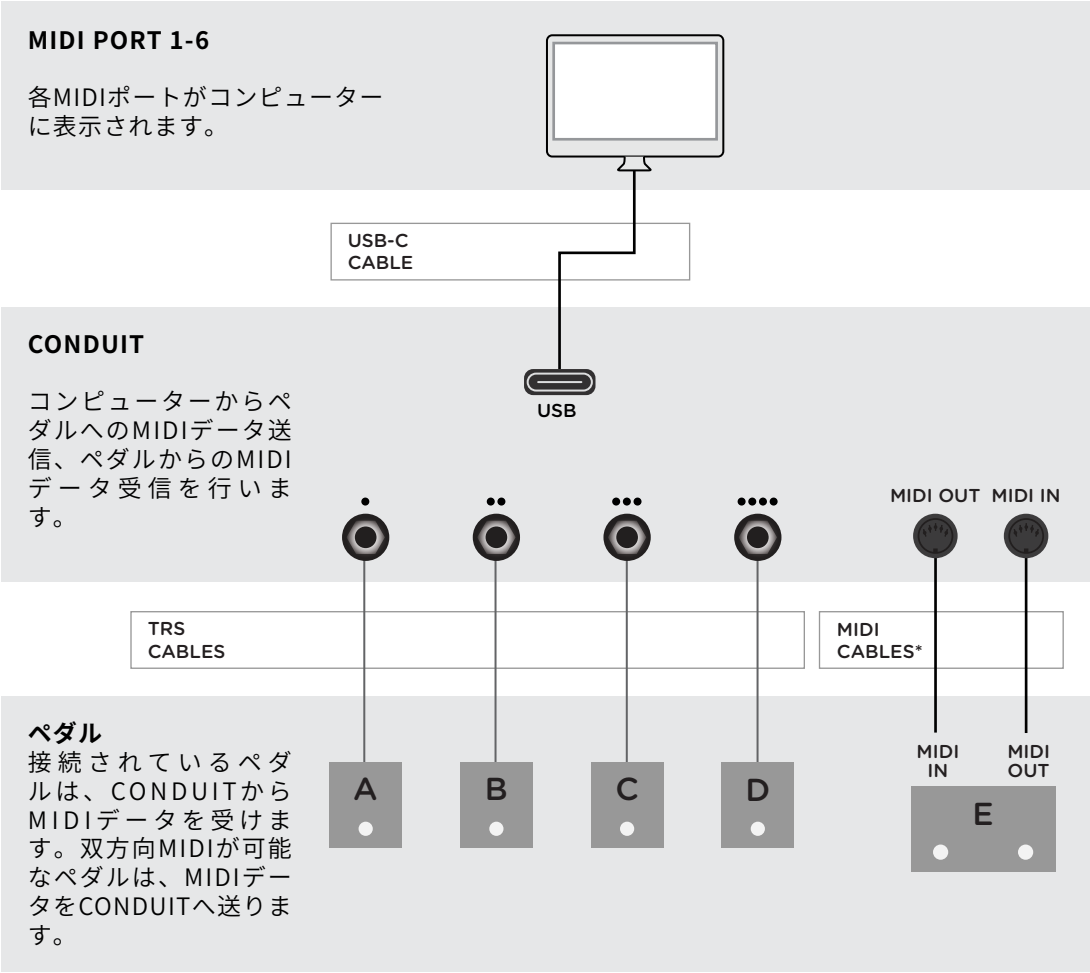
NOTE: 本機がUSBに接続されていないスタンドアロン時は、ペダルの1/4"ジャックで受けたMIDIデータが、統合されて5ピンDIN **MIDI OUT**ポートから出力されます。

Appendix 2

USB MIDIインターフェース

Appendix 2: USB MIDIインターフェース - ケーブル接続

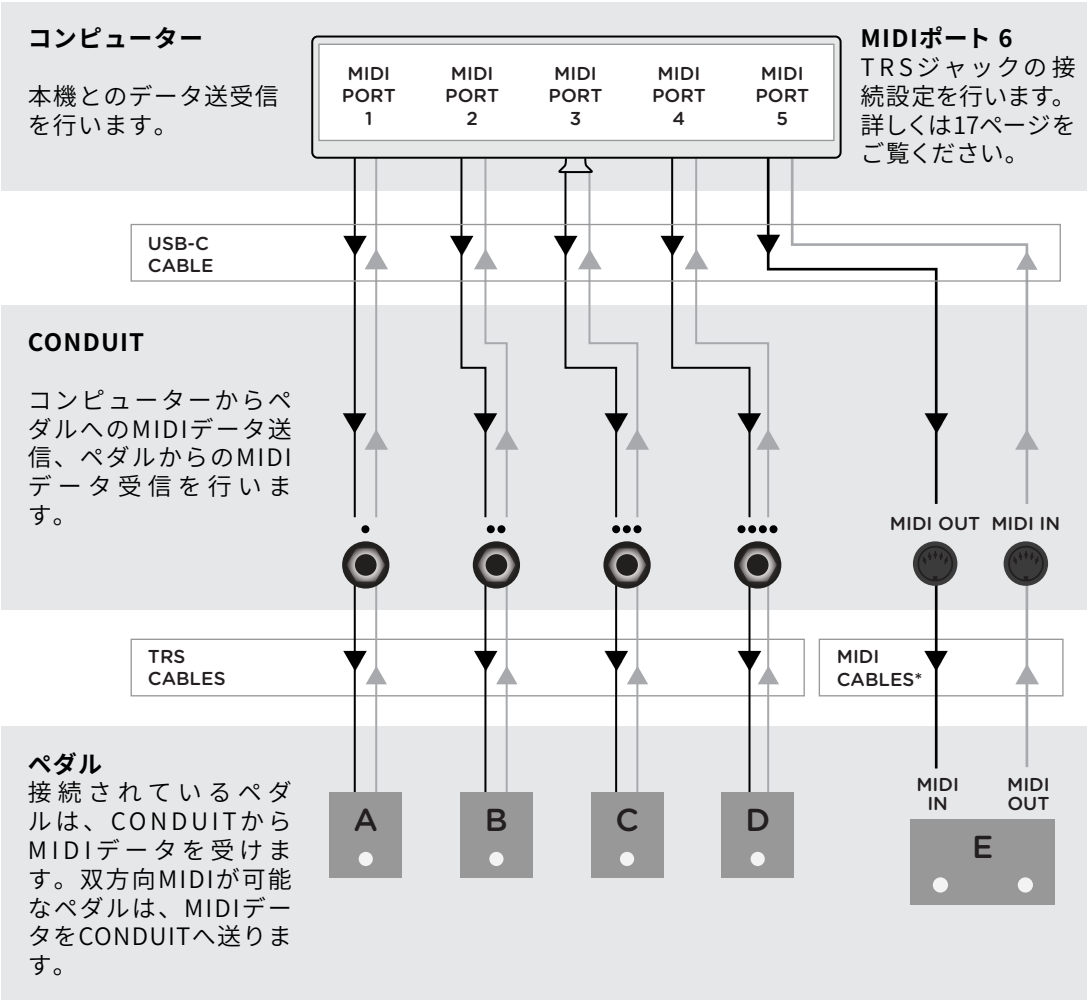
本機はUSB MIDIインターフェースとしても使用できます。本機がUSB接続されると、MIDIデータフローはスタンドアロン時と異なります。下の図はUSB接続時のケーブルコネクションです。



NOTE : MIDIケーブルは同梱されていません。

Appendix 2: USB MIDIインターフェース - データフロー

本機がUSB接続されると、MIDIデータフローはスタンダードアロン時と異なります。下図のように、各TRSジャックと両5ピンDINは独立したMIDIデバイスになり、コンピューターと本機の独自のデータフローが可能になります。



NOTE：MIDIケーブルは同梱されていません。

NOTE：このモードではMIDIデータは統合されません。

品質保証に関して

本機はStrymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印必須)を提示の上、購入された販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品はシリアルナンバーが登録されています。本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告:次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと故障故障する場合があります。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理店

株式会社HotoneJapan

113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE御茶ノ水 9F

【お問い合わせはこちら】

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。